

防災キャンプ 2017in 京都 (南部)

防災キャンプ 2017in 京都（南部）の様子を紹介します。

実施日時： 平成 29 年 9 月 16 日（土）12:00～17:30

※台風 18 号接近のため 17 日のプログラムは中止しました。

実施場所： 大山崎町立中央公民館

参加人数： 48 名（参加者、協力者、スタッフ含む）

活動内容：



制作「段ボールパーティション制作」 京都府キャンプ協会



学び「東日本大震災等被災地ボランティア体験」 龍谷大学ボランティア・NPO 活動センター



体験①「救急救命講習・消火訓練」

乙訓消防組合 大山崎消防署



体験②(大人)「避難所運営ゲーム HUG」

大山崎町災害ボランティアセンター



体験②(子ども)「災害が起きたとき何が出来る？」



京都府災害ボランティアセンター



ふりかえり



閉講式

参加者の感想より

- 段ボールとテープとカッターナイフを使うだけで家が作れたのが楽しかった。大学生の（講演の中で）東日本大震災の動画を見たり、ボランティアの説明を聞いたりしている教えてもらった。子どものプログラムの「災害が起きたとき何ができる？」では、知らない人とも交流できて楽しかった。（小学生）
- 今回の防災キャンプではAEDの使い方を知ることができました。人がもし倒れていた時の対処方法を知ることができ、倒れている人を見た時にその事が使えるので良かったです。講演では、津波の時の様子も映像で見られ、よくわかりました。また、どのように避難すれば良いのかということもよく知ることができました。（小学生）
- 消防署の方が消火器の訓練中に出動され、いつ何時災害が起こるかわからなということに改めて感じられました。この防災キャンプに参加して、少しゆとりを持って行動ができるようになったと思います。また、このような勉強会があれば参加したいです。少しの知識でもあればパニックにならずに済むと思います。（大人）
- 班に分かれてじっくり取り組めたのが良かったです。学生ボランティアの方の講演から希望をいただきました。若い方の力はみんなの力になると思います。子どもたちの参加も台風の中（出にくい状況の中）でも多く、彼らのこれからにも役立つと思います。自主防災の大切さ、地域の方とのつながりを深めておくことの大切さも感じました。（大人）